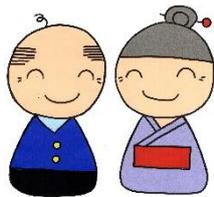


令和2年度 事業報告書



社会福祉法人 幸 寿 会

特別養護老人ホーム清風苑（長期入所）
特別養護老人ホーム清風苑（短期入所）
深谷市デイサービスセンター清風苑
清風苑在宅介護支援センター
グループホームすずかけ
生計困難者に対する相談支援事業

〒369-1105 埼玉県深谷市本田 4915 番地 1
TEL048-583-5555 FAX048-583-7257
E-mail seifuen@cello.ocn.jp URL <https://seifuen.com/>

*** 目 次 ***

はじめに・運営の理念・事業方針	2
令和2年度の主な庶務事項	3
特別養護老人ホーム清風苑 (介護老人福祉施設) (介護予防)短期入所生活介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	8
深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防)通所介護 総評、業務目標、委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	17
清風苑在宅介護支援センター (居宅介護支援事業者)	23
深谷市在宅介護支援センター清風苑 (在宅介護支援センター) 総評、業務目標、各会議、研修・会議の参加状況、業務報告、 利用者状況	
グループホームすずかけ (認知症対応型共同生活介護) 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	27
生計困難者に対する相談支援事業 総評、相談状況、研修・会議の参加状況	33
事務 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	35
給食 総評、業務内容、研修・会議の参加状況	36

はじめに

清風苑のショートステイ棟と既存建物改修工事が完了となる時期と同じく、新型コロナウイルス感染症が流行となりました。感染予防対策には不可欠なマスクや消毒液などは一時的ではありますが品薄と価格高騰により在庫の数と睨みあう毎日となりました。また、ご利用されている方には、体調確認の強化をはじめ外出行事や面会の制限など長期にわたって不慣れた生活となっています。このような感染対策の日々が続く中、自粛とともに職員募集も不調となりました。近隣でも複数施設でクラスターが発生し、オープンできないショートステイ棟はもしまに備えた感染隔離エリアでもありました。さらにデイサービスの利用率は、いわゆる営業活動も厳しくて低迷が続きました。直接的なのか間接的なのか、これがコロナ禍の影響として片付けたくはありませんが、当然のことながら収支はとても厳しい結果となり、重く感じております。

また、令和3年4月の介護保険制度の改定準備もありました。「感染症や災害対応力強化」「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取組の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」といった柱に基づき見直しを実施されました。運営基準の緩和やICT推進もありますが、何より科学的介護の取り組みとして「LIFE（科学的介護情報システム）」の運用がはじまりました。介護報酬も改定され、加算の仕組みは更に手間が必要となります。職員の負担増加の懸念とともに、理解が難しい利用料の仕組みは更にすすんだと感じます。

現在の清風苑においては職員採用も整い、決算理事会・評議員会の頃には新任職員の育成途中ではありますが、ショートステイ増床分の受入れが開始している事と思います。また、デイサービスにおいても少しずつではありますが利用増加がみられています

新型コロナウイルス感染者の動向も気になる一方、ワクチンの効果も期待しています。しばらくは徹底した感染予防対策を継続して安全と安心のサービス提供をし、法人の安定運営に力を注ぐことと致します。

運営の理念

「私たち職員は利用者の尊厳を守り

気づきの姿勢により一人ひとりの望まれる生活を大切にし
地域福祉の向上のため貢献します」

～幸寿会のこころ

- 一、利用者に明るく接し、“安心”される介護をします
- 二、介護と看護の技術を磨き“安全”な生活を守ります
- 三、地域と連携し高齢者福祉の“発展”に努めます
- 四、職員が協力し“信頼”される幸寿会を築きます

事業方針

- 一、人命人権を尊重した業務の研鑽を行う
- 二、日常業務の改善と地域ニーズを考えた事業を展開する
- 三、環境に配慮した業務改善を行なう
- 四、職員教育とチームワークを充実する（言葉、接遇、技術）
- 五、働きやすい職場作りと待遇改善に努める

令和2年度の主な庶務事項

2. 4. 1 辞令交付式
4. 1 施設賠償責任保険更新（あいおい損害保険㈱）
4. 1 役員賠償責任保険（あいおい損害保険㈱）
4. 1 掃除・洗濯・夜間施設管理請負契約締結（清風苑：深谷市シルバー）
4. 1 夜間施設管理請負契約締結（清風苑：寄居町シルバー）
4. 1 広報「清風」第32号発行
4. 5 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出（大里広域）
4. 8 退職手当共済 R2 年度掛け金納付対象職員提出6名（福祉医療機構）
- 4.10 エアコン交換（すずかけ：食堂：(有)ヤジマメンテナンス）
- 4.11 埼玉県老人福祉施設断熱化促進事業導入効果報告書提出（特養：県環境部）
- 4.11 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書提出（埼玉県）
- 4.11 介護職員処遇改善計画書・介護職員等特定処遇改善計画書提出（大里広域）
- 4.20 老人福祉施設指導台帳提出（特養：県監査課）
- 4.20 ショートステイ棟テーブル・イス購入（五幸事務機㈱）
- 4.20 食堂イス購入（すずかけ：五幸事務機㈱）
- 4.24 介護ロボット使用状況報告書提出（特養・センサーマット①：高齢者福祉課）
- 4.24 介護ロボット使用状況報告書提出（特養・センサーマット②：高齢者福祉課）
- 4.24 福祉避難所の指定状況等回答（深谷市長寿福祉課）
- 4.25 社会福祉施設従事者相互保険更新手続（福祉振興・試験センター）
- 4.30 車両更新（デイ：中古 ek ワゴン：坂田自動車㈱）
- 4.30 福祉避難所開設訓練実施実績・予定調査回答（深谷市長寿福祉課）
- 4.30 車両更新（デイ：中古ラゲイス：トヨタカー埼玉㈱）
- 4.30 ショートステイ増床職員募集企画（特養：㈱アーチーズ）
5. 1 レースカーテン保守契約締結（特養・支援：キングラン商事㈱）
5. 1 カーテン保守契約締結（デイ：キングラン商事㈱）
5. 3 埼玉県社会福祉施設等の被災状況整理表回答（特養：県高齢福祉課）
5. 7 ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書（北部環境管理事務所）
- 5.10 厨房他の害虫駆除実施（特養・デイ・すずかけ：(株)ビルワーク）
- 5.12 消防設備等（総合：清風苑）（機能：デイ・すずかけ）定期点検実施
(株)ビルワーク
- 5.12 エアコン交換（すずかけ：居室3台：(有)ヤジマメンテナンス）
- 5.22 深谷市デイサービスセンター清風苑車両更新共同募金助成要望書提出
(埼玉県共同募金会)
- 5.22 軽自動車税減免申請（深谷市：2.6.15 市税減免通知）
- 5.26 自動車税減免申請（埼玉県自動車県税事務所：2.8.28 県税減免通知）
- 5.27 自家用電気工作物の年次検査実施（日本テクノ）
6. 5 書面監事の監査実施
6. 6 埼玉県社会福祉事業共助会総会委任状提出48名（埼玉県社会福祉事業共助会）
- 6.19 第126回理事会（書面）（事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、監事の退任と監事の推薦、高額取引の入札除外、
定時評議員会の日時・開催場所・議題の決定）
- 6.15～26 職員定期健康診断
- 6.16 自動車保険契約（JA ふかや）
- 6.15 浴槽水の水質検査（清風苑・デイ：(株)熊谷環境分析センター）
- 6.17 総合防災訓練（全事業）
- 6.25 電子開示システム現況報告
- 6.28 第67回評議員会（書面）（事業報告、決算報告、社会福祉充実残額と社会福祉充実計画、監事の退任と監事の推薦、高額取引の入札除外）

- 6.30 賞与支払い届提出(日本年金機構)
- 6.29 介護事業実態調査(介護事業経営実態調査)(短期：厚生労働省)
- 7. 2 資産の変更登記申請完了(さいたま地方法務局)
- 7. 2 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 7. 4 労働条件自主点検表回答(デイ：厚生労働省)
- 7. 6 算定基礎届提出(日本年金機構)
- 7. 6 労働保険概算確定保険料申告書提出(熊谷労基署)
- 7. 6 高齢者雇用状況報告書提出(ハローワーク熊谷)
- 7. 6 クラスターの発生に備えた互助ネットワークの登録(特養：県高齢福祉課)
- 7. 6 車イス5台、リクライニング車イス3台購入(特養：ひまわり館)
- 7.10 2004年度福祉車両助成事業により取得した車両の廃車に関する届出書
(ワゴンR:日本財団)
- 7.10 食器(汁椀30個・マグカップ60個)購入(特養：東海興商(株))
- 7.14 物置(使用後の紙オムツ・清拭用)設置(特養：ジエムズ(株))
- 7.16 賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 7.23 電子開示システム現況報告再提出
- 7.27 公益法人の収支計算書(平成31年(令和1)年度)の提出書提出(熊谷税務署)
- 7.29 令和元年度介護職員処遇改善加算実績報告書受付
(特養・短期・デイ：北部福祉事務所)
- 7.29 令和元年度介護職員処遇改善加算実績報告書受付
(すずかけ・デイ総合事業：大里広域)
- 8. 1 広報「清風」第33号発行
- 8. 1 コピー機リース更新(特養：(株)大塚商会：総額)
- 8. 3 電子開示システム現況報告再提出
- 8. 4 深谷市デイサービスセンター清風苑車両更新調査(埼玉県共同募金会)
- 8.12 令和元年度(平成31年)度決算に基づく特別養護老人ホーム収支状況調査及び新型コロナウイルスによる収支影響調査提出(特養：県老協)
- 8.12 高齢者施設における施設内感染対策のための自主点検チェックリスト回答
(特養：県高齢者福祉課)
- 8.19 利用者健診(特養・すずかけ：深谷寄居医師会メディカルセンター)
- 8.21 高齢者施設における施設内感染対策のための自主点検チェックリスト回答
(すずかけ：大里広域)
- 8.23 骨折事故報告書提出(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 8.23 骨折事故再発防止策報告書提出(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 8.25 車両更新(デイ：中古ハイース：坂田自動車工業(株))
- 8.27 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金 交付申請書兼実績報告書提出
(介護慰労金事業：申請額4,409,000円：88名：埼玉県)
- 9. 1 共助会標準報酬基礎届(埼玉県社会福祉事業共助会)
- 9. 9 深谷市デイサービスセンター清風苑車両更新共同募金助成決定
(助成額：2,490,000円埼玉県共同募金会)
- 9.17 グリーン棟トイレ詰まり修理(特養：古郡建設(株))
- 9.21 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金 交付申請書兼実績報告書提出
(感染対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業(送迎自動車・長机・空調設備)
：申請額1,221,000円：埼玉県)
- 9.23 喫煙スペース整備工事(特養：ジエムズ(株))
- 9.23 BCP訓練(全事業所)
- 9.25 深谷市デイサービスセンター清風苑車両更新共同募金助成契約内容報告書提出
(埼玉県共同募金会)
- 9.30 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金交付決定兼交付確定通知書
・入金(介護慰労金事業：交付決定額4,409,000円：88名：埼玉県)

- 9.30 エアーマット購入4台(特養：ひまわり館)
- 10. 1 セキュリティ機器(FortiGate)リース更新(特養：㈱大塚商会)
- 10. 3 埼玉県介護職員等永年勤続表彰推薦書提出(県高齢者福祉課)
- 10. 3 医療施設静態調査回答(厚生労働省)
- 10. 3 福祉避難所に関する調査書(深谷市長寿福祉課)
- 10. 3 共助会標準月額決定通知受理(埼玉県共助会)
- 10. 5 介護ロボットに関する特別養護老人ホーム実態調査回答(特養：県高齢者福祉課)
- 10. 5 離設事故報告書提出(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10. 5 離設事故再発防止策報告書提出(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10. 6 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 10. 6 変更届出書提出(支援：ケア変更：大里広域)
- 10. 7 変更届出書提出(特養：ケア変更：北部福祉)
- 10. 7 骨折事故報告書提出3件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10. 7 骨折事故再発防止策報告書提出3件(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 10. 9 介護サービス施設・事業所調査回答(デイ・すずかけ：厚生労働省)
- 10.13 新型コロナウイルス対策のための消毒用アルコール配布
(全事業所：県高齢者福祉課)
- 10.15 福祉避難所の指定状況等回答(深谷市長寿福祉課)
- 10.17 第127回理事会(非常用発電機設置の見送り、第1次補正予算、契約職員・パートタイム職員就業規則改定、評議員会の日時・開催場所・議題の決定、報告事項)
- 10.23 新型コロナウイルス感染予防苑内研修
- 10.24 厨房用エアコン修理(特養：(有)ヤジマメンテナンス)
- 10.25 トイレ洗面自動水栓交換3か所(特養：(有)ヤジマメンテナンス)
- 10.25 社会福祉充実計画策定状況等調査回答(深谷市福祉政策課)
- 10.25 第68回評議員会(非常用発電機設置の見送り、第1次補正予算、契約職員・パートタイム職員就業規則改定、報告事項)
- 10.27 ネットワーク整備工事(特養：南関通信工業㈱)
- 10.29 防災訓練(デイ)深谷消防職員指導
- 10.30 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金交付決定兼交付確定通知・入金
(感染対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業(送迎自動車・長机・空調設備)
：交付額1,221,000円：埼玉県)
- 10.31 2006年度福祉車両助成事業により取得した車両の廃車に関する届出書
(キャラバンナンバープレートNo.726:日本財団)
- 11. 1 受水槽定期清掃(清風苑・㈱ビルワーク)
- 11. 1 受水槽定期清掃(デイ：㈱ビルワーク)
- 11. 4 職員定期健康診断(深谷寄居医師会メディカルセンター)
- 11. 5 施設職員の勤務年数等に関する調査票回答(特養：県高齢者福祉課)
- 11. 6 脱衣室エアコン修理(デイ：(有)ヤジマメンテナンス)
- 11. 6 居室エアコン更新2台(すずかけ：(有)ヤジマメンテナンス)
- 11. 8 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ：㈱ビルワーク)
- 11.11 消防設備等(機能：清風苑)(総合：デイ・すずかけ)定期点検実施
(㈱ビルワーク)
- 11.12 介護ロボット使用状況報告書提出(特養・マッスル：高齢者福祉課)
- 11.13 令和3年経済センサス活動調査企業構造の事前確認票回答
(特養・デイ・すずかけ：総務省・経済産業省)
- 11.18 高齢者福祉施設の避難確保計画における実態調査回答(特養：県高齢者福祉課)
- 11.18 新型コロナウイルス対策のためのマスク、手袋配布(全事業所：県高齢者福祉課)
- 11.19 食堂テーブル購入2台(デイ：(有)ソリッドネーム)
- 11.16~30 職員インフルエンザ予防接種実施
- 11.22 離設事故報告書提出(特養：北部福祉・大里広域・深谷市)

- 11. 22 離設事故再発防止策報告書提出 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 11. 25 介護サービス情報の公表の報告(支援：県高齢者福祉課)
- 11. 26 特定給食施設等栄養管理状況報告書提出 (清風苑・デイ：熊谷保健所)
- 11. 27 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金 交付申請書兼実績報告書提出
(感染対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業(ネットワーク整備工事・喫煙スペース工事・厨房エアコン・食堂テーブル2台・職員休憩室テーブル2台)在宅サービス事業所における環境整備のための経費(自動水栓・食堂テーブル2台)：申請額2,621,000円：埼玉県)
- 11. 30 介護サービス情報の公表の報告(デイ：県高齢者福祉課)
- 11. 30 浄化槽定期清掃実施 (小嶋衛生社)
- 11. 30 消防感知器2か所、職員用玄関誘導灯更新(特養：(株)ビワーク)
- 12. 1 介護サービス情報の公表の報告(すずかけ：県高齢者福祉課)
- 12. 1 広報「清風」第34号発行
- 12. 2 特別養護老人ホーム等の施設の状況及び配置医師等について回答(県保健医療部)
- 12. 6 介護サービス情報の公表の報告(特養・短期：県高齢者福祉課)
- 12. 9 令和2年度ブロック塀等の安全対策状況及び非常用自家発電設備の整備に関する調査回答(特養：県高齢者福祉課)
- 12. 10 夜間通報訓練(全事業所)
- 12. 14 賞与支払い届提出(電子申請)(日本年金機構)
- 12. 14 特別養護老人ホーム清風苑ショートステイ増床借入事業完了報告書提出
(短期：福祉医療機構)
- 12. 17 賞与支払届決定通知受理 (日本年金機構)
- 12. 18 新型コロナウイルス対策のための手袋配布(特養・デイ・すずかけ：県高齢者福祉課)
- 12. 19 新館廊下空調更新(短期：田部井建設(株))
- 12. 23 深谷市デイサービスセンター清風苑車両納車(坂田自動車工業)
- 12. 25 深谷市デイサービスセンター清風苑車両更新共同募金助成事業交付申請書
・交付申請事業完了報告書提出(埼玉県共同募金会)
- 12. 28 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金 交付申請書兼実績報告書提出
(感染対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業(廊下空調更新)在宅サービス事業所における環境整備のための経費(廊下空調更新)：申請額1,122,000円：埼玉県)
- 12. 28 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金 交付決定兼交付確定通知・入金
(感染対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業(ネットワーク整備工事・喫煙スペース工事・厨房エアコン・食堂テーブル2台・職員休憩室テーブル2台)在宅サービス事業所における環境整備のための経費(自動水栓・食堂テーブル2台)：交付額2,621,000円：埼玉県)
- 3. 1. 4 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出 (大里広域)
- 1. 4 骨折事故報告書提出 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 1. 4 骨折事故再発防止策報告書提出 (特養：北部福祉・大里広域・深谷市)
- 1. 6 看護師等業務従事者届提出(県保健医療部)
- 1. 11 令和2年度医療機能情報定期報告回答(特養：熊谷保健所)
- 1. 15 職員食堂スプリンクラーヘッド交換、配管水漏れ修理(特養：(株)ビワーク)
- 1. 15 深谷市デイサービスセンター清風苑車両更新共同募金助成金入金
(2,490,000円：埼玉県共同募金会)
- 1. 15 深谷市デイサービスセンター清風苑車両更新共同募金助成事業支払い
完了報告書提出(埼玉県共同募金会)
- 1. 18 深谷市デイサービスセンター清風苑車両代支払い(坂田自動車工業)
- 1. 18 洗面所(手前)水栓交換(特養：(有)ヤジマメンテナンス：57,750円)
- 1. 18 床暖房修理(タイマー交換)(デイ：ミサト(株))床暖房電源修理(デイ：(株)吉田電気工事)
- 1. 18 2002年度福祉車両助成事業により取得した車両の廃車に関する届出書
(キャラバン ナンバープレートNo.6430：日本財団)
- 1. 27 介護ロボット導入調査回答(特養：県老協)
- 1. 27 定期健康診断報告書提出 (清風苑入所者：熊谷保健所)

- 1.28 地域交流スペーストイレ中継フロートスイッチ交換(特養：エコサービス株)
- 1.28 埼玉県介護サービス感染対応・再開支援事業補助金 交付決定兼交付確定通知・入金
(感染対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業(廊下空調更新)在宅サービス事業
所における環境整備のための経費(廊下空調更新)：交付額 1,122,000 円：埼玉県)
- 1.27 定期健康診断報告書提出(法人全体：熊谷保健所)
- 1.31 2002 年度福祉車両助成事業により取得した車両の廃車に関する届出書
- 1.31～2. 1 高齢者施設職員に対する PCR 検査実施
(特養対象：職員・委託業者 57 名：埼玉県)
- 2. 2 高齢者施設職員に対する PCR 検査結果全員陰性
- 2. 8 新型コロナウイルスワクチンの接種に関する事前調査回答
(特養・すずかけ：深谷市長寿福祉課)
- 2.10 簡易専用水道管理検査実施(埼玉県環境検査研究協会)
- 2.10 浄化槽配線工事(特養：エコサービス株)
- 2.10 簡易専用水道管理検査実施(埼玉県環境検査研究協会)
- 2.15 浄化槽法定検査実施(埼玉県浄化槽協会)
- 2.17 社会福祉施設指導監査(書面監査)資料提出(特養・短期：県福祉監査課)
- 2.20 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における労働者の働き方の実態に
関する調査(厚生労働省)
- 2.20 防災訓練(すずかけ)深谷消防職員指導
- 2.24 厨房ガス配管工事(特養：有松本石油)
- 2.24 36 協定届(熊谷労基署)
- 2.27 大型洗濯機修理(駆動モーター(再生品)交換・Vベルト交換)
(特養：三洋商事株)
- 3. 1 食器購入(マグカップ 80 個)(特養：東海興商株)
- 3. 3 新型コロナウイルス対策のためのマスク、手袋配布
(特養・デイ・すずかけ：県高齢者福祉課)
- 3. 5 全国老協会員施設・事業所の所属法人状況調べ回答(全国老協)
- 3. 5 受水槽 FMバルブ交換修理(特養：田部井建設株)
- 3.15～3.16 高齢者施設職員に対する PCR 検査実施
(特養・すずかけ対象：職員・委託業者 70 名：埼玉県)
- 3.17 高齢者施設職員に対する PCR 検査結果全員陰性
- 3.18 社会福祉施設指導監査(書面監査)結果通知(特養・短期：県福祉監査課)
- 3.18 第 128 回理事会(第 2 次補正予算、事業計画、予算、給与規程の改定、グループホーム
すずかけ職員給与規程の改定、育児・介護休業等に関する規則の改定、公印管理
規程の改定、評議員選任・解任委員会運営細則の改定、役員賠償保険の更新、評議
員会の日時・開催場所・議題の決定、その他)
- 3.27 第 69 回評議員会(第 2 次補正予算、事業計画、予算、給与規程の改定、グループホ
ームすずかけ職員給与規程の改定、育児・介護休業等に関する規則の改定、公印管
理規程の改定、評議員選任・解任委員会運営細則の改定、役員賠償保険の更新、そ
の他)
- 3.30 変更届出書提出(すずかけ：運営規程・居住費・虐待防止：大里広域)
- 3.30 変更届出書提出(デイ総合事業：運営規程・虐待防止：大里広域)
- 3.30 変更届出書提出(デイ：運営規程・虐待防止：北部福祉事務所)
- 3.30 変更届出書提出(特養：運営規程・虐待防止：北部福祉事務所)
- 3.30 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(特養・短期・デイ：北部福祉事務所)
- 3.30 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書提出
(デイ総合事業・すずかけ：大里広域)

特別養護老人ホーム清風苑
(介護老人福祉施設)
((介護予防)短期入所生活介護)

1. 総評

令和2年度目標『利用者への約束』～利用者を中心として考えられる職員になる～を意識し、職員の育成と定着を目指しました。利用者の生活は、新型コロナウイルス感染症への感染予防徹底のため、入居者・ショート利用者には体調確認の強化をはじめ、面会や外出行事の制限など長期にわたって不便な生活が続いています。入居者の状態を御家族コロナウイルス思いから、オンライン面会や写真付きの手紙を毎月送付する事で近況をお知らせし、入居者と御家族の繋がりを少しでも保てるよう応える事が出来ました。このような状況でも、楽しみを持って頂ける様に施設外の散策や四季を感じられる行事、食事の楽しみとして年間を通じて定期的に出前行事を取入れました。その他、集団での誕生会から個々の誕生日にその方に合った記念日を迎えられるよう計画実施する事が出来ました。

また、清風苑のショート棟増床工事と既存施設の改修工事が完了し、新たな年の始まりを予感していましたが、改修工事後、多床室のできる限りの個室化やトイレの改修、医務室の移動、浴室の中間浴設置とバリアフリー化などにより、利用者、職員にとり、住みやすく、働きやすい環境となりました。しかしながら、職員体制が整わずショート増床分を稼働する事が出来ませんでした。令和3年度を迎えるにあたり職員体制も整いつつあるため、利用者を中心として考えられる職員育成を主な課題として取り組み、体制を整え増床分のベッド稼働を目指します。稼働率向上の重要ポイントとして、退所から次期入所者受入や入院者発生からの空床状況を減らせるようスムーズな対応が課題となっております。

感染予防対策については、年間を通じて徹底し取り組んだことにより、1年間、利用者、職員が感染する事なく過ごすことができました。今後の新型コロナウイルスワクチン接種の効果を期待し、引き続き感染予防の徹底に取り組んでいきます。

2. 各会議・各委員会報告

【事故防止委員会】

事故が起きた後に検証を行う事で様々な視点から事故の分析が出来ました。再発防止策が全体に周知されているかの後追いが不十分であったことは課題となりました。防げる事故・防げない事故(予測していない急な立ち上がり等による転倒)など、その中でどこまで防ぐ努力が出来るかを考え、現状+先読みを意識して日常的に関わっていく必要性を学びました。

【身体拘束適正化委員会】

身体拘束者ゼロの時間帯を作る取り組みとして始めたゼロタイムは、昨年と同様に継続して全部署で取り組めた事で目標は達成出来たと評価しています。

身体拘束者は当初3名(経管栄養によりミトン着用2名)。身体拘束の代替案により、対象者については解除する事は出来ませんでした。少しでもミトンを着用しない時間帯を設ける事は出来ました。年度末は医療的に必要な対象者や一時的にベルトを使用した対象者を含め3名と なっています。排泄・口腔ケア等介助時は随時外す等、こまめに解除する時間を設ける取り組みも継続して行う事が出来ました。

【広報委員会】

広報誌の定期発行(清風:年3回)を継続し、施設活動や生活の様子を紹介しました。

【虐待防止委員会】

「虐待を防止するために、事例を通して、自らの仲間を知る」を目標に、職員間での感情コントロールが原因で虐待に繋がる恐れがある事を知り、職員の不適切な言動や態度が利用者に移行しない様に啓発活動に力を入れ活動を行いました。また、年度最後には職員自ら施設内研修を行い、不適切な言動については職員間で注意し合えるより良い環境作りが出来ました。

【ショートステイ】

「安心・安全・楽しく」を基に支援を行いました。安心・安全の部分で情報発信は早目に行えたが、利用者情報の後追いが足りない場面もありました。情報収集、発信、共有、後追いを心掛

けていきます。楽しくの部分では、作品づくりのレクレーションを行い、掲示することで楽しんで頂くことが出来ました。

【環境委員会】

利用者生活向上の為、安心できる生活環境の整備・職員の気づきを促す注意喚起、課題抽出と改善、利用者への約束を目標に一年間を通じて活動を行いました。各エリアの整頓はもちろんの事、環境作りに気持ちが向けられる様に職員育成にも取り組む事ができました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 令和2. 4. 24 緊急時対応・感染予防基礎研修（緊急事態宣言下の為、回覧）
- 5. 6 新型コロナウイルス感染症予防対策（法人内衛生会議：8名）
- 5. 27 新型コロナウイルス感染症予防（法人内衛生会議：8名）
- 5. 29 倫理及び法令遵守に関する研修（施設内研修：18名）
- 6. 26 事故防止、浴室においての実施含む（施設内研修：18名）
- 7. 31 食中毒予防・排泄ケア（施設内研修：16名）
- 8. 25 新型コロナウイルス感染症予防（法人内衛生会議：7名）
- 8. 28 身体拘束廃止①、疑似体験・褥瘡予防対策（施設内研修18名）
- 10. 23 感染症予防研修（法人内研修：27名）
- 10. 30 排泄ケア（ユニ・チャーム）
事故防止、着脱時の注意点（施設内研修：14名）
- 11. 9～令和3年1. 22 話し方・折衝・交渉力向上研修（施設内研修17名）
- 11. 20 感染症の状況と予防（法人内衛生会議：13名）
- 12. 18 感染予防の再周知（法人内衛生会議：13名）
- 12. 18 感染症（ノロウイルス等）・ターミナルケア（施設内研修15名）
- 令和3. 1. 15 感染症予防の再周知（法人内衛生会議：13名）
- 2. 10～24 福祉現場に必要な法律の基礎知識（9名）
- 2. 19 衛生会議（法人内衛生会議：17名）
- 2. 26 高齢者虐待防止・身体拘束廃止②（施設内研修：20名）
- 3. 9～22 摂食・嚥下研修（Webによるオンライン施設内研修：30名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
令和2年 8/25～9/25	かな福祉専門学校	2	23
10/19～10/30	はばたき特別支援学校	1	10
令和3年 2/10～3/13	かな福祉専門学校	1	23
3/10～4/10	かな福祉専門学校	1	23
合計		5	79

5. ボランティア活動状況

月	団 体		個 人		合 計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	【深谷市】 いなほ会
5	0	0	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	0	0	
10	1	13	0	0	1	13	
11	0	0	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
合計	1	13	0	0	1	13	

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	春の風を感じよう！ドライブへ… (61)
5	開苑記念日 (49) 中庭で食事会 (60) お買い物会〈お菓子〉 (18) 出前行事〈ほっともっと〉 (29)
6	出前行事〈ハーズ〉 (29) 日帰り外出〈ドライブ〉 (42)
7	七夕会 (65)
8	夏祭り (56)
9	長寿会 (72)
10	饅頭作り (55) 出前行事〈久兵衛屋・はま寿司・びっくりドンキー・ハーズ〉 (40) 運動会 (46)
11	焼き芋 (33) 苑内散歩・苑外散歩 (46) 福祉の心を育む懇話会：幡羅小学校 (472)
12	忘年会 (62) クリスマス会 (64) 餅つき (51)
1	新年会 (66) 書き初め (46) 福祉の心を育む懇話会：川本南小学校 (166)
2	節分 (58) バレンタイン (48) 出前行事〈将軍ラーメン・久兵衛屋・はま寿司・ネギトロ〉 (45)
3	ひなまつり (53) ホワイトデー (49)

7. 業務報告

月	内 容
4	特養会議 事故防止委員会 給食会議 特養運営会議 身体拘束適正化委員会 入所検討委員会 広報委員会 ショート受入委員会 虐待防止委員会 環境委員会
5	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 入所検討委員会 広報委員会 ケース会議 ショート受入委員会 環境委員会 褥瘡対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
6	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 入所検討委員会 広報委員会 総合防災訓練（地域・地震・通報・避難・消火） ショート受入委員会 環境委員会 褥瘡対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
7	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 広報委員会 ケース会議 ショート受入委員会 環境委員会 入所検討委員会 褥瘡対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
8	特養会議 事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 環境委員会 虐待防止委員会 入所検討委員会 特養運営会議 身体拘束適正化委員会
9	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 入所検討委員会 環境委員会 ケース会議 ショート受入委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会 BCP訓練（本部立ち上げ・福祉避難所から運営・閉鎖まで流れ確認）
10	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 身体拘束適正化委員会 褥瘡対策委員会 入所検討委員会 広報委員会 虐待防止委員会 環境委員会
11	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 身体拘束適正化委員会 褥瘡対策委員会 広報委員会 環境委員会 ケース会議 入所検討委員会 ショート受入委員会 虐待防止委員会
12	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 広報委員会 ショート受入委員会 総合防災訓練（夜間緊急通報訓練） 環境委員会 入所検討委員会 褥瘡対策委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
1	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 環境委員会 ケース会議 入所検討委員会 ショート受入委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
2	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 ショート受入委員会 環境委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会
3	事故防止委員会 喀痰吸引安全対策会議 給食会議 特養運営会議 褥瘡対策委員会 広報委員会 ケース会議 ショート受入委員会 入所検討委員会 環境委員会 身体拘束適正化委員会 虐待防止委員会

8. 利用者状況 <令和2年度に関する以外は令和3年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況 () は再掲：緊急措置入居
定員50名 現在員47名 (男性11名 女性36名)

(2) 利用者年齢別状況 () は再掲：緊急措置入居

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～ 105	計
男性	1	0	2	2	1	3	1	1	0	11
女性	0	1	3	6	4	4	12	4	2	36
計	1	1	5	8	5	7	13	5	2	47

※最高年齢男性 91歳 3ヶ月 *最若年齢男性 60歳 9ヶ月 *平均年齢男性 80.5歳
女性 102歳 4ヶ月 女性 67歳 6ヶ月 女性 86.6歳
総平均 85.2歳

(3) 利用期間 (令和3年4月1日現在)

利用期間	男	女	計	利用期間	男	女	計
6ヵ月未満	2	9	11	9年～10年未満	0	1	1
6ヵ月～1年未満	4	6	10	10年～11年未満	1	0	1
1年～2年未満	2	9	11	11年～12年未満	1	0	1
2年～3年未満	0	1	1	12年～13年未満	0	0	0
3年～4年未満	0	1	1	13年～15年未満	0	0	0
4年～5年未満	0	2	2	15年～17年未満	0	0	0
5年～6年未満	0	3	3	17年～19年未満	0	0	0
6年～7年未満	0	1	1	19年～21年未満	0	0	0
7年～8年未満	0	0	0				
8年～9年未満	1	3	4	合計	11	36	47

※最短利用期間 2ヵ月間
※最長利用期間 11年 3ヵ月間
※平均利用期間 2年 10ヵ月間

(4) 要介護度 (令和3年4月1日現在) *平均介護度 3.9

要介護区分	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0	0	3	5	3	11
女性	0	1	13	13	9	36
計	0	1	16	18	12	47

(5) 入所申込状況（入所検討委員会）（ ）は見直し

	A	B	C	D	計
令和2年4月	0	0	1	0	1
5月	0	0	1	0	1
6月	0	2	2	0	4
7月	2	1	0	0	3
8月	5	1	1	0	7
9月	3	2	0	0	5
10月	1	1	2	0	4
11月	2	2	0	0	4
12月	5	2	0	0	7
令和3年1月	1	2	0	0	3
3月	1	0	1	0	2
合計	20	13	8	0	41
令和3年4月1日待機者	12	12	11	0	35

(6) 月別利用者状況（ ）は再掲：緊急措置入居 年間利用率 92.4%

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者数(在籍)A	42	45	50	48	50	49	48	46	47	48	49	48	
月中新利用者数B	4	5	0	2	0	2	3	4	4	3	1	0	28
月中退所者数C	1	0	2	0	1	3	5	3	3	3	0	0	23
月中入院者数D	2	2	4	4	6	4	5	4	2	1	2	2	56
月末入院者数E	2	3	1	1	1	1	4	2	1	2	2	1	21
月末日利用者(実数)F=A+B-C	45	50	48	50	49	48	46	47	48	49	48	47	
延べ利用者数	1,303	1,418	1,383	1,498	1,423	1,410	1,353	1,357	1,471	1,477	1,349	1,439	16,881

(7) 市町村別入退所者状況 () は再掲：緊急措置入居

市町村	令和3年4月1日			令和2年4月1日			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	7	25	32	366	19(1)	19(1)	(入)5/19 5/19 5/22 5/25 7/3 7/12 9/2 9/21 10/13 10/27 11/6 11/19 12/15 12/18 12/23 1/16 1/26 1/26 2/22 (退)4/20 6/2 6/4 8/10 9/17 9/29 10/9 10/11 10/19 10/22 10/26 11/11 11/14 12/11 12/20 12/24 1/24 2/14 2/27 (院)4/1~4/15 4/12~6/4 5/28~8/21 7/28~8/14 7/29~9/8、9/28~11/2 8/22~9/28、10/4~10/26、11/25~12/14 9/18~10/19 1/29~2/12
熊谷市	2	2	4	43	1	0	(入) 4/10 (院) 2/26~4/9
寄居町	1	6	7	67	2	1	(入) 4/10 5/22 (退) 3/19 (院) 6/2~6/27 7/31~8/22、11/17~12/4
小川町	0	3	3	58	2	2	(入) 10/22 11/11 (退) 11/9 1/2 (院) 3/26~4/12
東松山市	1	1	2	0	1	0	(入) 4/14
上尾市	0	1	1	0	0	0	
さいたま市	0	0	0	0	0	1	(退) 9/27
栃木県 羽賀町	0	0	0	57	0	1	(院) 8/24~10/19 (退) 10/19
計	11	38	49	591	25	24	

(8) 利用者の身体状況 (令和3年4月1日現在)

日常生活動作等

介助項目区分	自立	一部	全介	利用者状況							
移動介助	4	9	34	使用機種	車イス 28名、リクライニング 14名、歩行器 1名						
食事介助	26	7	14	食事場所	食堂 42名、居室 5名 (内、経管者 5名)						
排泄介助	3	19	25	おむつ 使用者数	人数	定時	随時				
				常時の者	23	4回	8回以上				
				夜間のみ者	7	2回	4回以上				
入浴介助	1	15	31	使用浴槽	一般浴 3名・器械浴 29名・リフト浴 15名						
着替介助	1	23	23	毎日着替	要介助 0名、自力 0名						
体位交換介助	19	5	23	介助者の 状況	人数	定時	随時				
				褥瘡者	0	4回					
				その他	20	11回					
障害老人の日 常生活自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2		
	2	0	3	3	6	10	17	0	6		

精神状況等

精神項目区分	人数	原因疾患・認知度数								
意思疎通不能者数	13	原因疾患	機能的障害 6名、精神的障害 4名							
認知性老人者数	45	認知症度数	重度 9名、中度 27名、軽度 9名							
知症老人の日常生 活自立度	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M		
	2	3	3	3	17	10	8	1		

(9) 常食給与栄養摂取量 (1人平均)

種目	エネルギー kcal	タンパク 質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール ug	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg	塩分 g
1日必要 摂取量	1,532	52.3	33.8	632	6.3	694	0.99	1.1	100	6.7
4月	1,606	51.7	50.0	644	7.4	984	1.72	1.27	110	8.5
5月	1,661	54.0	54.2	652	7.2	868	2.03	1.09	86	8.6
6月	1,664	54.7	55.2	667	7.1	1059	2.14	1.43	116	8.2
7月	1,615	52.1	52.2	664	7.6	1011	1.82	1.34	102	8.2
8月	1,630	53.9	52.2	662	6.9	1056	1.86	1.31	102	8.5
9月	1,649	54.0	53.1	650	7.1	1163	2.40	1.59	117	8.4
10月	1,652	54.1	55.2	674	7.2	1043	1.95	1.38	107	8.7
11月	1,638	52.8	53.5	765	12.3	1174	2.24	1.58	107	8.5
12月	1,631	53.1	51.8	757	12.2	1091	2.09	1.45	107	8.3
1月	1,642	54.3	52.9	774	12.2	991	1.80	1.24	105	8.6
2月	1,632	54.1	51.7	770	12.2	959	1.93	1.24	101	8.4
3月	1,630	52.7	52.3	732	11.7	938	1.78	1.22	108	8.0
平均	1,636	53.7	52.7	702	9.2	1031	1.97	1.33	106	8.4

(10) 短期入所生活介護事業実績：() は予防介護の再掲 * 1日平均利用率 9.0人

区	深谷市		小川町		寄居町		ときがわ町		小 計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	12	180	5	58	2	23	0	0	19	261
5	13	161	5	69	1	24	0	0	19	254
6	10	120	4	67	2	37	0	0	16	224
7	17	144	5	67	3	61	0	0	25	272
8	17	167	4	69	3	62	0	0	24	298
9	17	155	5	79	3	58	0	0	25	292
10	16	138	7	95	4	73	0	0	27	306
11	17	144	7	77	4	67	1	26	29	314
12	16	156	6	69	3	59	1	4	26	288
1	16	146	6	79	3	62	0	0	25	287
2	16	98	5	61	2	51	0	0	23	210
3	15	116	5	65	2	41	0	0	22	222
計	182	1,725	64	855	32	618	2	30	280	3,228

区	熊谷市		東松山市		小 計		合 計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	0	0	0	0	0	0	19	261
5	0	0	0	0	0	0	19	254
6	0	0	0	0	0	0	16	224
7	0	0	0	0	0	0	25	272
8	0	0	0	0	0	0	24	298
9	0	0	0	0	0	0	25	292
10	0	0	0	0	0	0	27	306
11	0	0	0	0	0	0	29	314
12	0	0	0	0	0	0	26	288
1	0	0	0	0	0	0	25	287
2	0	0	0	0	0	0	23	210
3	1	9	1	17	2	26	26	274
計	1	9	1	17	2	26	284	3,280

深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防・日常生活支援総合事業) 通所介護)

1. 総評

令和2年度は「在宅生活を続けていただくために、多様なニーズにお応えします」という業務目標のもと、入浴、食事、排せつといった日常生活のサポート、個別ケアと行事イベントで日常生活動作の維持、楽しみと生きがいを持ち続けられる社会参加の場として、利用者一人一人のニーズにお応えしました。

機能訓練においては、1月より機能訓練専用エリアの整備と新たな運動機器となるエアロバイクを2台導入し、効率的かつ円滑に機能訓練を実施しました。

脳トレにおいては、そろばんを活用したそろばん脳トレを導入し、脳の活性化と指先の運動を兼ね心身機能の向上に役立てていただきました。

新型コロナウイルス感染拡大による影響により、外出イベント及びボランティアの受け入れを全面的に休止しましたが、季節の果物を使用したスイーツイベント、懐かしい郷土料理フェアを代替実施し、利用者の方に有意義な時間を過ごしていただきました。

運営状況においては、令和2年4月初旬の緊急事態宣言を受け、利用自粛や回数減少の依頼をせざるを得ず、新規利用者相談の減少も重なり、稼働率が伸び悩みました。宣言終了後も利用率上昇は見込めず、平均利用者が20名を下回る状況でした。しかし、毎月の営業活動の甲斐もあり、年度末より徐々に新規利用者依頼が増え、利用率改善へ繋がりはじめています。

令和3年度も、感染対策を徹底の上、利用者の日常生活継続の支援をデイサービスとしてしっかりと取り組んでいきます。

2. 各会議・委員会報告

【デイ会議・ケース会議】

働き方改革や感染予防を考慮し、時間外の開催から原則業務時間内の開催としました。デイ会議では、毎月「行事イベント予定表」をより伝わりやすい内容に改善するため、デザインや掲載内容を工夫し、利用者の楽しみや意欲向上に繋げることができました。

ケース会議は、PDCAサイクルに基づき、作成、実施、モニタリング、評価を適切に実施しました。

【業務向上委員会】

効率的かつ円滑に機能訓練が行えるよう、機能訓練エリアを整備しました。10月より体力測定を開始し、3か月ごと年4回の測定を業務化しました。

日々の業務は当日に完結できるよう、職員間で声を掛け合う連携を図り、超過勤務に繋がらないよう徹底しました。毎週水曜日のノー残業デイについても、適切に対応することが出来ました。

【安全対策委員会】

年間事故発生件数11件と、前年比マイナス4件でした。最も多い事故は転倒6件、次いで送迎中の3件でした。転倒については、骨折に繋がる重大事故はありませんでした。送迎中の事故では、利用者宅屋根への接触、ドア開閉時のタイル接触、器物破損が目立ちました。車両の適正な停車位置、見通しの悪い場所の徐行などを徹底し、同様の事故を防いでいます。他車両より受けた停車中の追突事故もありましたが、防ぎようのない事故でした。

【広報委員会】

毎月デイサービスだより白鳥の発行を行ないました。デイサービスの活動が、ご家族や地域の方へより広く伝わるよう継続していきます。

【サービス向上委員会】

ケアマネージャーへ利用状況を報告する様式に「体力測定結果」「利用時の写真」「体重」を掲載し、ご利用状況の見える化を図りました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 2. 4. 17 認知症及び認知症ケアに関する研修（施設内研修：9名）
- 5. 25 自主点検表に基づく倫理法令遵守に関する研修（3名）
- 7. 24 身体拘束排除の為の取り組みに関する研修（施設内研修：7名）
- 9. 23 地域ケア会議（大里広域地域包括支援センターふじさわ苑：1名）
- 10. 29 非常災害時の対応に関する研修（施設内研修：8名）
- 11. 26 感染防止マニュアルに基づく感染症予防研修（施設内研修：10名）
- 3. 2. 16 福祉現場法律の基礎知識とプライバシー保護（埼玉県：2名）
- 3. 1 事故発生、再発防止研修（施設内：7名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
3/10～3/31	かな福祉専門学校	1	16
合 計		1	16

5. ボランティア受け入れ

月	団体		個人		合計		《主要活動団体》 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルス感染予防によりボランティア受け入れを全面休止としたため受け入れ実績なし
5	0	0	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	
3	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	いちごスイーツフェア6日間 (91) 園芸活動：落花生植え (3) 創作活動：こいのぼり壁画 (45) 次月カレンダー制作 (22)
5	菖蒲風呂2日間 (32) 園芸活動：夏野菜植え (12) 調理レク：かしわ餅作り (18) きなこ餅作り (18) 創作活動：あじさい (41) 次月カレンダー制作 (18)
6	園芸活動：じゃがいも収穫 (5) 調理レク：ホットケーキ作り (20) いももち作り2日間 (37) 創作活動：すいか壁画 (40) 次月カレンダー制作 (26)
7	夏季限定ドリンクバー 7/15～ 冷や汁フェア5日間 (96) 調理レク：いもピザ作り2日間 (41) 創作活動：次月カレンダー制作 (20)
8	夏季限定ドリンクバー ～8/31 調理レク：水ようかん作り (20) ぼたもち作り (16) かき氷2日間 (35) ところてん作り (15) 創作活動：次月カレンダー制作 (25)
9	敬老会 計6日間 (108) 調理レク：フレンチトースト作り (21) 創作活動：折り紙ぶどう制作 (43) 次月カレンダー制作 (20)
10	りんごスイーツフェア5日間 (88) 園芸活動：さつまいも収穫 利用者 (7) 保育園児 (19) 創作活動：新聞紙でさつまいも制作 (47) 次月カレンダー制作 (38)
11	調理レク：芋ようかん作り (17) 季節行事：焼いも大会3日間 (58) 創作活動：次月カレンダー制作 (41)
12	師走フェア 6日間 (109) 調理レク：クリスマスケーキ作り2日間 (37) 季節行事：餅つき大会 (19) 創作活動：次月カレンダー制作 (39)
1	季節行事：書き初め6日間 (48) 調理レク：焼きもち風汁粉作り (17) 創作活動：鬼のお面作り (50) 次月カレンダー制作 (39)
2	季節行事：節分豆まき (19) 調理レク：ホットケーキ作り (19) バンタインチョコ菓子作り (20) 創作活動：ひな人形作り (51) 次月カレンダー制作 (43)
3	調理レク：3色白玉あんみつ作り (17) 園芸活動：じゃがいも植え (5) 創作活動：次月カレンダー制作 (36)

7. 業務報告

月	内 容
4	次月月間活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
5	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
6	法人総合防災訓練（地震・避難・消火） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
7	デイサービス会議 ケース会議 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
8	個別ケア活動内容検討 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
9	B C P 総合訓練（地震・避難・初動 30 分） デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
10	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会 デイサービス総合防災訓練（地震・避難・消火）
11	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
12	夜間通報訓練 デイサービス満足度調査実施 デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
1	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
2	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会
3	デイサービス会議 ケース会議 次月月間活動内容検討 業務向上委員会 安全対策委員会 サービス向上委員会

8. 利用者状況

※令和2年度に関する以外は、令和3年4月1日現在にて表示

(1) 利用者数

登録者 54名 (男性 13名・女性 41名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	～ 59	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～	計
男性	1	1	0	2	1	2	4	1	1	0	13
女性	0	0	0	1	2	8	11	13	5	1	41
計	1	1	0	3	3	10	15	14	6	1	54

(3) 要介護度

平均支援度 1.6 平均介護度 2.4

区分	事業対象	支援Ⅰ	支援Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	計
男性	0	1	0	3	2	3	2	2	13
女性	1	2	9	11	5	9	3	1	41
計	1	3	9	14	7	12	5	3	54

(4) 利用事由 (重複あり)

	男性	女性	計
日中独居	5	23	28
家庭での入浴困難	12	38	50
独り暮らし	0	5	5
他者との交流	7	38	45
介護者の負担軽減	6	19	25
心身の機能維持	5	36	41
認知症の進行予防	5	21	26
計	40	180	220

(5) サービス開始・終了者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開始	2	1	0	3	1	2	3	5	3	0	4	2	26
終了	0	3	2	2	4	0	4	2	4	4	3	2	30

(6) 月間利用実績

(前期) 4月～9月

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
登録者数	57	55	57	52	54	51	—
延利用者数	462	462	524	511	449	468	2,876
(総合事業)	79	75	95	95	79	82	505
(介護)	383	387	429	416	370	386	2,821
運営日数	26	26	26	27	26	26	157
1日平均利用者数	17.8	17.8	20.2	18.9	17.3	18.0	18.3
昼食提供数	462	462	524	511	449	468	2,876
送迎回数	880	880	1,012	976	855	895	5,498
入浴回数	342	344	378	364	317	331	1,994

(後期) 10月～3月

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
登録者数	54	59	56	53	53	52	—
延利用者数	486	467	432	448	462	487	5,658
(総合事業)	74	74	71	77	81	91	973
(介護)	412	393	361	371	381	396	4,685
運営日数	27	25	24	24	24	27	308
1日平均利用者数	18.0	18.7	18.0	18.6	19.3	18.0	18.3
昼食提供数	486	467	432	448	462	487	5,658
送迎回数	939	891	835	855	908	935	10,861
入浴回数	359	337	320	320	327	331	4,070

(7) 地域別登録者

地区	深谷市	寄居町	小川町	合計
男	11	1	1	13
女	38	2	1	41
計	49	3	2	54

清風苑在宅介護支援センター（居宅介護支援事業者）

深谷市在宅介護支援センター清風苑（在宅介護支援センター）

1. 総評

令和2年度、清風苑在宅介護支援センターは、職員の異動により新たな職員を迎え思いも新たに業務に携わり始めました。利用者、家族の状況に合わせて進み方、電話での対応、立ち振る舞い等、基本姿勢として寄り添う支援を大切にして訪問時の様子、サービス利用時の様子などを共有して今必要とするものや今後必要とする支援を共に考え利用者への係わり方や基本姿勢を崩さない様に努め適切な支援に繋がるように同行訪問を通して確認や振り返りを行いました。

新型コロナウイルス対策として玄関先での短時間の訪問や郵便を使つての送付、電話での確認や利用者との会議においても通常通りの開催ではなく書面での会議参加などに切り替え、利用者への感染対策に注意し利用者・家族の支援に大きく変化はなくサービス利用も継続出来ました。

昨年度の課題だった記録や帳票類の整備の徹底を図るため定期的な確認を行い不備のない様に努めました。

様々なニーズに応えるため、毎週行う会議の他、日頃から事業所内で社会資源等の情報共有を積極的に行う事で、職員間で協力関係を築けるよう努めました。

入院者に対しては、在宅復帰に向けて入院前の生活にできる限り近づけ、安心して過ごせる環境となるよう医療機関や各介護サービス提供事業所と連携を密に行いました。

地域包括支援センター主催の研修会や事例検討会に参加して、他事業所との意見交換により、意識や知識の向上と共に情報の共有を深め、より広い視野で課題を把握し支援できるよう努めました。

2. 業務目標・各会議報告

(1) 業務目標

『相談しやすい環境・体制作り』

①「質が高く気遣いのあるサービス・信頼に繋がる関わりの強化」

利用者宅や関係する事業所への訪問、来苑された際の言葉使いや行動を意識し信頼される関係性の向上・気遣いのあるサービスに繋がるようにマナーを意識して取り組むことが出来ました。利用者宅訪問の連絡・調整する際の話し方や進め方、訪問時の言葉遣いや態度を意識しスムーズな支援に繋がるように取り組むことが出来ました。

②「各利用者・介護者の情報共有と関係の強化」

定期的な利用者情報連携会議によって利用者の状況変化や支援背景、事業者からの報告を共有でき各担当だけでなくチームとして対応出来ました。主治医との定期的な会議を開催し、介護と医療の両面から支える事が出来ました。

③「振り返りによる早期改善の体制作り」

一人で行動することが中心になる為、他のケアマネージャーからの視点を通して気づいた点を話し合い利用者や家族への振舞い、利用者や家族が必要としている事を見つけ支援に繋がれているか話し合うことが出来ました。帳票類の確認も年に3度実施し帳票類の不備がないように努めました。

④「地域への介護相談・支援の機能としての発信」

介護者教室は残念ながら感染症対策のため行えませんでした。安心して参加・実施できる環境が整い次第開催したいと考えております。地域支え合いの会合については地域包括支援センターの判断で開催出来た月もありました。その都度参加し地域で課題を見つけ共に取りくむ事が出来ました。

(2) 各会議

①支援センター会議

運営会議の内容情報共有を行い、支援センターの運営に盛り込む事ができました。

②利用者情報サービス連携会議

各担当の利用者の変化を共有し、支援の進捗状況や地域の事業者など新たな社会資源になるサービスについての共有や、支援上の問題点など無いか確認する事が出来ました。

③主治医との会議

月に1度、主治医とのやり取りで担当している利用者の情報を共有することで、連携を図りながら支援を進める事が出来ました。居宅支援に医療面からの情報を取り入れて、現状のサービスやこれからの支援の進め方に繋げる事が出来ています。

3. 研修・会議の参加状況 (参加日・研修会議名 (主催:参加者))

令和2. 7.14 第1回深谷市南部介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑:金子、豊田、小倉)

11. 5~12.22 (8回) 介護支援専門員更新研修 (埼玉県介護支援専門員協会:黒澤)

11.10 第2回深谷市南部介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑:金子、豊田、小倉)

令和3. 3.12 第3回深谷市南部介護支援専門員交流会 (包括ふじさわ苑:金子、小倉、黒澤)

3.15 「2021年度介護報酬改定のポイント解説」オンライン研修会

(埼玉県老人福祉施設協議会:金子、小倉、黒澤)

4. 利用者状況

(1) 相談・新規居宅依頼・終了者の状況

(入院者は除く)

月	相談件数	新規・居宅依頼件数	居宅終了件数
4月	2件	2名 (男性 0名・女性 2名)	2名
5月	0件	2名 (男性 1名・女性 1名)	2名
6月	3件	1名 (男性 1名・女性 0名)	2名
7月	3件	3名 (男性 1名・女性 2名)	3名
8月	4件	4名 (男性 2名・女性 2名)	2名
9月	2件	3名 (男性 2名・女性 1名)	1名
10月	2件	2名 (男性 1名・女性 1名)	2名
11月	2件	2名 (男性 1名・女性 1名)	0名
12月	5件	5名 (男性 3名・女性 2名)	2名
1月	4件	4名 (男性 3名・女性 1名)	3名
2月	2件	2名 (男性 2名・女性 0名)	3名
3月	6件	4名 (男性 3名・女性 1名)	3名
合計	35件	34名 (男性 20名・女性 14名)	25名

令和3年3月31日現在

(2) 年間居宅請求数

(月遅れ請求者も含む)

	介護給付	予防給付	認定調査
4月	72件	13件	4件
5月	72件	13件	7件
6月	70件	13件	6件
7月	70件	13件	4件
8月	73件	13件	3件
9月	73件	13件	4件
10月	74件	11件	5件
11月	78件	11件	4件
12月	74件	11件	2件
1月	80件	12件	3件
2月	70件	12件	3件
3月	74件	13件	2件
合計	880件	148件	47件

令和3年3月31日現在

(3) 利用者年齢別状況

区分	2号 被保険者		1号被保険者								合計
	60歳 未満	60～ 64歳	65～ 69 歳	70～ 74歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85～ 89 歳	90～ 94歳	95～ 99 歳	100 歳～	
男性	1	1	6	3	12	10	6	2	0	0	41
女性	0	0	0	3	4	15	9	7	5	3	46
合計	1	1	6	6	16	25	15	9	5	3	87

令和3年3月31日現在

(4) 月別・介護度別利用者数 (暫定利用者含む)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
支援 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	15
支援 2	11	11	11	11	11	11	9	9	9	9	9	10	121
介護 1	23	24	24	22	23	20	21	22	22	24	21	19	265
介護 2	21	23	22	25	27	28	25	23	22	21	23	24	284
介護 3	16	15	15	13	15	15	18	17	18	18	16	18	194
介護 4	9	8	8	8	7	6	4	7	9	11	6	7	90
介護 5	2	2	1	1	1	3	4	6	4	4	4	6	38
合計	84	85	83	82	86	85	83	86	86	90	82	87	1,019

令和3年3月31日現在

(5) 介護度別・サービス種別利用者数 (一部重複者あり)

区分	訪問 介護	訪問 看護	訪問 入浴	訪問 リハ	通所 介護	通所 リハ	短期 介護	短期 療養	福祉 用具	合計
事業 対象者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
支1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
支2	0	1	0	0	2	0	0	0	9	12
介1	1	1	1	1	8	1	4	0	11	28
介2	4	2	0	0	9	1	3	0	14	33
介3	1	3	0	0	12	3	4	0	10	33
介4	1	2	0	0	3	1	1	0	5	13
介5	1	2	1	0	1	0	1	0	1	7
合計	8	11	2	1	37	6	13	0	52	130

令和3年3月31日現在

グループホームすずかけ (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

1. 総評

令和2年度を振り返り、利用者状況は、定期的なモニタリングも継続でき、職員間で利用者への共通理解を深めた介護支援もできつつあります。改めてグループホームはどうあるべきものなのかを考え、個々の生活支援の充実をテーマに取り組みます。

職場環境として、各種会議を勤務時間内に設定し、時間外勤務の負担の軽減を図りました。

また、利用者の生活を支えるチーム作りの中で職員間のコミュニケーションは重要となります。特に新任職員の育成については、初心者から経験者の幅広い状況に対応していく必要があります。コミュニケーション不足からの課題も見られていたため、令和3年度は面談を行う上で、支援ひとつひとつへの理由や課題を各職員が共有できるようコミュニケーションを取り、相談しやすい環境作りを行っていきます。

利用状況については、重度化による特養への入所のため退所者が複数見られ、次期入所までの空床期間により、利用率の目標は達成出来ませんでした。待機者を確保することが難しく、サービス事業所や病院等との連携を常日頃取っておくことが必要と感じました。

2. 業務目標・各会議・委員会報告

(1) 業務目標報告

「利用者と共にすずかけでの生活を楽しむ」

利用者主体を常に発信しながら職員はあらゆる面で関わり、利用者のことを理解し共に寄り添うことを目標としてきました。緊急事態宣言～新型コロナウイルス感染予防の徹底により、面会や外出等は限られた生活を強いることとなりました。その中で、どのようにしたらストレスの少ない楽しい日常を過ごしていただけるかを考え支援に努めました。後半からは、意見を発信しやすい方も増え、散歩やぬり絵、食事メニュー等の希望に添った支援を行いました。今後も、積極的にコミュニケーションを取り、常に目線を合わせた利用者主体の生活支援の提供を目指していきます。

(2) 各会議報告

①グループホーム会議

各会議や委員会の報告、事故、ヒヤリハットの振り返りや各ケースを検討しています。令和2年度より、就業時間内での会議を目指し、一つの会議を数回に分けて職員周知をしてきました。その中で「介護保険制度の基本的理解」「新型コロナウイルス感染症勉強会」「高齢者虐待防止・身体拘束研修」「感染症研修」「法令遵守・倫理基礎研修」「高齢者虐待防止・身体拘束研修」「プライバシーの保護研修」の勉強会を実施しています。今後も必要なテーマをあげ、知識を深めていきます。

②運営推進会議

新型コロナウイルス感染症対策の為、従来通りの会議の開催は見送り、写真入りの書面で日常生活の様子などを伝えています。(大里広域からも承認)

その後、地域包括支援センターより再開し始めているとの情報もいただきましたが、感染状況が再び増え始めた為、令和2年度は書面送付形式で行いました。

令和3年度は、大里広域や地域包括支援センターより情報をいただきながら安全な方法で実施してまいります。

(3) 各委員会報告

①生活向上委員会

継続して「目線を合わせよう運動」を発信し、利用者とのコミュニケーションを充実することにより、制限された生活を送りながらも、利用者の意見を取り入れ施設内で楽しめる体操やゲーム、季節感のある行事や工作等を行い、利用者主体の生活支援を全職員で取り組みました。課題として外への散歩やドライブが困難な時期もあり、運動能力の低下が見られました。令和3年度は感染予防を徹底しながら機能低下を防げるような支援に努め、グループホームでの心身ともに健康的な生活が長期的に送れるよう進めていきます。

②身体拘束廃止委員会

毎回議題として環境や業務の中で身体拘束にあたらぬか、行動抑制になりかねない言動を検討し、各定例会議等で全職員が共通理解し支援にあたるよう啓発しています。定期的な会議や随時申し送り等により状況確認しながら取り組んでいます。令和2年度も、身体拘束となる事例は見られませんでした。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 令和2. 5.20～6.2 介護保険制度の基本的理解（施設内研修：10名）
- 7.27 新型コロナウイルス感染症勉強会（施設内研修：8名）
- 8.27 高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修（施設内研修：8名）
- 11.10 感染症研修（施設内研修：6名）
- 12 法令遵守・倫理基礎研修（施設内研修：11名）
- 令和3. 2.27～3.15 高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修（施設内研修：8名）
- 4.1～6 プライバシーの保護研修（施設内研修：9名）

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	日数
なし	なし	0	0
合 計		0	0

5. ボランティア受け入れ

	団 体		個 人		合 計	
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

6. 年間行事 () は参加者数

月	内 容
4	運営推進会議 ※書面にて報告・送付 4/7
5	運営推進会議 ※書面にて報告・送付 5/13
6	6/6 外出：農林公園 (3) 6/15 外出：農林公園 (2) 6/17 総合防災訓練 (12)
7	
8	8/19 すずかけ納涼祭 (13)
9	9/16 敬老会 (15) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付
10	10/27 すずかけ運動会(13)
11	運営推進会議 ※書面にて報告・送付
12	12/10 忘年会 (15) 12/25 クリスマス会 (14)
1	1/1 初詣 (深谷市・坂上神社) (7)
2	2/ 2 節分 (12) 2/14 バレンタイン (12) 2/20 防災訓練 (13) 運営推進会議 ※書面にて報告・送付
3	
該当月	誕生会

7. 業務報告

月	内 容
4	4/24 床ワックス グループホーム会議 ※数回に分けて実施 4/28～5/2 すずかけニュース 81 号発行
5	5/1 すずかけニュース・空所状況送付 5/5 生活向上委員会 5/12 消防設備点検 5/27 入所検討委員会 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 5/20～6/2
6	6/17 防災訓練 6/25 グループホーム会議 6/26 入所検討委員会 6/30 出張美容 すずかけニュース 82 号発行
7	7/13 生活向上委員会 7/27 グループホーム会議
8	8/14 すずかけニュース・空所状況送付 8/27 床ワックス、グループホーム会議 すずかけニュース 83 号発行
9	9/25 入所検討委員会
10	10/4 生活向上委員会 10/9 グループホーム会議 10/14 すずかけニュース・空所状況送付 10/27 生活向上委員会 すずかけニュース 84 号発行
11	11/13 消防設備総合点検 11/19 床ワックス全箇所
12	12/7 入所検討委員会 12/21 すずかけニュース・空所状況送付 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 12/27、28、31 すずかけニュース 85 号発行
1	1/8 生活向上委員会 1/12 入所検討委員会
2	2/13 生活向上委員会 2/17 入所検討委員会 2/20 防災訓練 グループホーム会議 ※数回に分けて実施 2/27、3/5、12、15 すずかけニュース 86 号発行
3	3/18 生活向上委員会 グループホーム会議 ※数回に分けて実施
備考	不定期：居宅介護支援事業所、老健事業所、病院合計 44 ヶ所入居者空床、待機情報案内書、すずかけニュース郵送。

8. 利用者状況 <令和2年度に関する以外は令和3年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況

定員9名 現在員9名 (男性4名 女性5名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 ～94	95 ～99	100 ～104	計
男性	0	1	1	0	2	0	0	0	0	4
女性	0	0	0	0	1	1	2	1	0	5
計	0	1	1	0	3	1	2	1	0	9

*最高年齢 女性96歳9ヶ月

*最若年齢 男性65歳6ヶ月

*平均年齢 83.9歳

(3) 入所申込状況 (入所検討委員会)

年月	件数	年月	件数
令和2年 4月	0	10月	0
5月	1	11月	0
6月	1	12月	1
7月	0	令和3年 1月	2
8月	0	2月	1
9月	1	3月	0

(4) 利用期間

利用期間	男	女	計
3ヵ月未満	0	3	3
6ヵ月未満	1	0	1
1年未満	0	1	1
2年未満	0	1	1
2年以上	3	0	3
計	4	5	9

(5) 月別利用者状況

年間利用率 94.8%

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月初日利用者数 (在籍)A	9	9	9	9	9	9	8	8	8	7	8	9	
月中新利用者数B	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	1	0	6
月中退所者数C	0	1	0	1	0	1	1	0	2	1	0	0	7
月中入院者数D	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3
月末入院者数E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末日利用者数 (実数)F=A+B-C	9	8	9	9	9	8	8	8	7	8	9	9	
延べ利用者数	270	264	270	277	279	260	252	240	251	245	230	279	3,117

(6) 市町村別入退所者状況

市町村	令和3年 4月1日現在			令和2年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	4	5	9	3	7	7	(入) 6/1 7/5 10/3 12/12 1/16 1/18 2/23 (退) 5/6 7/2 9/20 10/6 12/22 12/24 1/29 (院) 7/31~8/19 12/23 3/1~3/15、3/18~3/31
熊谷市	0	0	0	0	0	0	
寄居町	0	0	0	0	0	0	
計	4	5	9	3	7	7	

(7) 利用者の心身状況

【日常生活動作】

介助項目区分	自立	一部介助	全介助
移動介助	4	5	0
食事介助	6	3	0
排泄介助	2	7	0
入浴介助	0	9	0
着替え介助	7	2	0
体位交換介助	9	0	0

【心身状況】

認知症老人の 日常生活自立度	自立	I	II	II a	II b	III	III a	III b	IV	M
	0	1	2	1	4	0	1	0	0	0

(8) 要介護度

*平均介護度 1.7

要介護区分	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0	1	3	0	0	0	4
女性	0	3	1	1	0	0	5
計	0	4	4	1	0	0	9

生計困難者に対する相談支援事業

(彩の国あんしんセーフティネット事業)

1. 総評

令和2年度の支援要請は、新規1件と前年度からの継続支援2件で計3件でした。2件最終となり、1件が継続支援中です。令和2年度より継続しているケースでは、60代の息子と80代の母親の2人暮らしで母親の看病のため仕事に就かず年金での生活による困窮状況への支援です。新型コロナウイルス感染症による影響で件数が増えると思われたが依頼は少なく第3ブロック内の依頼も少ない状態でした。年度末に差し掛かり始めて徐々に依頼件数が増えているとの情報も入ってきているため、要支援者の力になれるよう支援活動に努めます。

また、買い物送迎支援の計画実施も新型コロナウイルス感染症による影響で停止している状況ですが、再開に向け協力していきます。同時に感染予防を徹底しながら慎重に活動していきます。

2. 相談状況 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(1) 年齢構成・相談件数

年 齢	人 数
20～30 歳代	1
40～50 歳代	0
60～70 歳代	1
80 歳～	1
合 計	3

(2) 紹介経路

紹 介 先	人 数
行政・社協・市町村	3
地域包括・医療・福祉施設・	0
民生委員・知人	0
本人	0
合 計	3

(3) 相談内容の主な特徴 (重複あり)

特 徴	人 数
高齢	1
失業	1
児童	0
母子・寡婦	1
身体・知的・精神障害	0
DV・虐待	0
多重債務	0
傷病	0
その他	0

(4) 現物給付の主な内容（重複あり）

内 容	人 数
食材	1
光熱水費	0
居住関係	0
日用品費	0
交通費	0
医療費	0
介護サービス	0
その他	0

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

研修参加 0 件

事 務

1. 総評

基幹的業務である法人事務、財務会計処理、職員給与計算、職員福利厚生や介護保険制度改正等の手続きを柱に取組みを行ないました。具体的には事業報告3ページの令和2年度の主な庶務事項となっています。今後も会計処理を迅速かつ正確に示すと共に事務部門の効率化と各事業所の円滑な事業運営に貢献してまいります。

2. 業務目標

- ・ショートステイ増床の開所ができていない。
- ・会計担当と庶務担当の交代準備を進めている。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

2. 7. 8 福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策研修(オンライン)
(埼玉県：5名)
9. 1 これからの介護保険(オンライン)(県老協：2名)
3. 1.18 「コロナが発生した、その時」研修会(オンライン)(県老協：2名)
- 2.10 「事例から学ぶコロナ対策」(オンライン)(埼玉県：3名)
- 2.11 令和2年度福祉現場で必要な法律の基礎知識研修(オンライン)
(県社協：2名)

給食

1. 総評

給食では令和2年度事業計画として①安心・安全、②発展、③職員研修、④連携と4つの業務目標について取り組みました。

① 「安心・安全」

誤嚥・窒息しない安全な食事を提供するために食形態の写真を使用し、食形態の統一を行いました。また、トロミに関しても他職種と共同で共通の基準を作成しました。

厨房内の衛生管理が充実するように備品の確認や使用している機器などの確認をしました。

検査対象の職員の数を増やし、提供している食事に対する意見を今までよりも幅広い範囲から聞く様に変更しました。

② 「発展」

温蔵庫を導入し食事の温度管理する環境が今までよりも改善されました。

おやつレクの開催日数を増やすことができました。他職種と相談し試作を行いながら意見を出し合い、今までにないおやつレクもできるようになりました。「そんなことはできないだろう。食べられないだろう。」と簡単に諦めるのではなくどのようにしたら提供し食べてもらう事ができるか考えおやつレクに取り組んでいきます。

ソフト食に使えるような食材があった場合には試作を行い、導入の検討をしました。今年にはパンの提供時にパン粥の提供などの新しい試みも開始する事ができました。

③ 「職員研修」

コロナウイルスの影響により、毎年開催されていた研修も未実施が多かったです。しかし、自発的にオンラインの研修などに参加し、新しい情報を学ぶことができました。

施設内の感染予防研修を実施しました。今年はコロナウイルスの影響もあり、今まで以上に感染に対して意識が向いていたように思いました。

④ 「連携」

行事食の内容が似た物が多くなってしまいました。担当職員と打ち合わせは行っていますが、まだまだ工夫できる点があるように思います。盛り付けの仕方や配膳の仕方など献立だけでなく利用者様が楽しいと感じていただけるような食事を提供していきます。

食事の摂取量の変化や体重の増減など利用者の状態が変化した場合には多職種に発信し、情報を共有してケアに繋げることができるようになりました。対応が遅れない様に気を付けながら日々の業務を行っていきます。

嗜好調査を年に2回行っていますが、今年は質問項目の見直しを行い実施しました。今後に繋がる嗜好調査を行える様にしていきます。

コロナウイルスの影響もありましたが SNS などを使用し他施設の管理栄養士と情報交換を行いました。来年度は介護報酬の改定があるため、他施設の管理栄養士の方々と今年より密な情報交換をしながら業務を進めていきます。

介護報酬の改定に伴いデイサービスやグループホームとの連携が求められるようになります。関連部署と確認をしながら滞りなく実施できる様に事前の準備や流れなどを進めていきます。

2. 業務内容

月	基 幹 業 務 内 容	調 査	会 議
4	利用者年齢構成表作成 納入業者の衛生教育及び食品搬入検査	残食調査	給食会議
5	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
6	食中毒予防強化 厨房内特別個所掃除及び機会器具の点検	温度湿度調査	〃
7	夏期利用者帰省の確認	嗜好調査	〃
8	厨房周りの環境美化	残食調査	〃
9	行事食献立内容の研究	残食調査	〃
10	利用者年齢構成表確認	残食調査	〃
11	ノロウイルス、インフルエンザ感染症対策強化	残食調査	〃
12	年末年始利用者帰省の確認 納入業者年末年始休業確認	残食調査	〃
1	厨房内特別個所掃除及び機械器具の点検	温度調査	〃
2	厨房周りの環境美化	嗜好調査	〃
3	食糧構成の検討・新年度業務計画の作成	残食調査	〃

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

令和 3. 3. 30 【第 1 回】厚生労働省の担当官が介護報酬改定（栄養関連）をわかりやすく解説！管理栄養士・栄養士の現場はこう変わる（介護保険施設編）
（日本栄養士会：1名）